

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 25 年 2 月 19 日 午後用

第 64 回 獣 医 師 国 家 試 験

必 須 問 題

注 意 事 項

1. 試験問題は、50 問であり、解答時間は 50 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき二つ以上解答した場合には、そのうちの 하나가正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問51 日本国で獣医師国家試験事務を受け持っている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

51 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
51 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案の作成に当たっては、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡が残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないので注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

(注意) 本冊子掲載の図表は、著作権保有者に無断で、複製・販売することはできません。

問1 「薬事法」において副作用の報告が義務づけられていない者はどれか。

1. 薬局開設者
2. 飼育動物診療施設開設者
3. 製造販売業者
4. 獣医師
5. 愛玩動物飼育者

問2 診療業務に獣医師免許が必要な動物はどれか。

1. フェレット
2. ハムスター
3. うずら
4. 金魚
5. サル

問3 豚やいのししが感染する強い伝染力と高い致死率が特徴の家畜伝染病で、我が国では平成19年（2007年）に清浄化を達成したのはどれか。

1. 豚水胞病
2. 豚コレラ
3. 口蹄疫
4. アフリカ豚コレラ
5. オーエスキー病

問4 「狂犬病予防法」に基づく犬の輸入検疫に関する記述として正しいのはどれか。

1. 厚生労働省の検疫所が実施している。
2. 全国どこの空港に到着しても輸入検疫ができる。
3. 到着40日前までに輸入に関する届出をする必要がある。
4. 輸出国の診療獣医師による狂犬病ワクチン接種の証明書が必要である。
5. 輸入検疫後100日以内に区市町村で登録手続きを行う。

問5 獣医師でなければなれない職種はどれか。

1. と畜検査員
2. 薬事監視員
3. 環境衛生監視員
4. 食品衛生監視員
5. 食鳥処理衛生管理者

問6 食肉中の放射性物質の規制の根拠となる法令はどれか。

1. 薬事法
2. 家畜伝染病予防法
3. 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律
4. 食品衛生法
5. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

問7 牛の家畜伝染病（法定伝染病）はどれか。

1. イバラキ病
2. 牛伝染性鼻気管炎
3. 牛白血病
4. 牛疫
5. 悪性カタル熱

問8 都道府県知事に届け出なければならない伝染病はどれか。

1. グレーサー病
2. 悪性水腫
3. エンテロトキセミア
4. ロドコッカス・エクイ感染症
5. 気腫疽

問9 狂犬病が疑われる犬を診断した獣医師がその旨を直接届け出なければならないのはどれか。

1. 厚生労働大臣
2. 都道府県知事
3. 家畜保健衛生所長
4. 保健所長
5. 市町村長

問10 「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」で定める家畜等に含まれないのはどれか。

1. 牛
2. 馬
3. 豚
4. 鶏
5. みつばち

問11 獣医師が手術同意書の作成にあたって飼い主に対して行う説明内容として適切でないのはどれか。

1. 疾患動物の病状と治療法
2. 手術適応の理由
3. 手術をした場合における予後の予測
4. 不可抗力の手術事故に伴う獣医師の免責
5. 手術の危険性

問12 動物福祉の原則として適切でないのはどれか。

1. 適切な量の食餌と水の供給
2. 肉体的不快感および苦痛の軽減
3. 傷害および疾病の回避
4. 恐怖および精神的苦痛の軽減
5. 習性を考慮しない環境の整備

問13 胃拡張・捻転症候群が疑われたゴールデン・レトリバー（体重40 kg）が来院した。この動物病院には大型犬の手術経験のある獣医師がいない。この動物病院の対応として最も適切なのはどれか。

1. 飼い主に胃拡張・捻転症候群の疑いがあると説明し、十分な検査や治療ができないので近くの対応可能な動物病院を速やかに紹介した。
2. 飼い主に消化器疾患の疑いがあると説明し、対症的内科治療を行った後、自宅で経過観察とした。
3. 血液検査の結果が出る明日に再来院するよう指示し帰宅させた。
4. すぐに経口的に胃チューブの挿入を試みたが入らなかったため、入院させ、時間をおいて再度試みることにした。
5. 近くに紹介できる病院はあったが、緊急と考え手術を実施することにした。

問14 実験動物として飼育しているラットの取扱いについて適切なのはどれか。

1. 3日後に安楽殺するので、餌も水も与えなかった。
2. 下等動物なので、簡単な手術を無麻酔で行った。
3. 野生種は不潔な環境に生息しているので、ケージの交換をしなかった。
4. 多頭数を飼育している施設で感染症が発生したので、その室の動物をすべて安楽殺した。
5. 同一ケージで複数頭を飼育したところ喧嘩を始めたが、飼育場所に余裕がないのでそのまま放置した。

問15 愛犬の死因に納得せず、担当した獣医師に執拗に抗議を繰り返す飼い主への対応として最も適切なのはどれか。

1. 抗議をすべて無視する。
2. 金銭での解決を図る。
3. 常に飼い主の要求に応じる。
4. 飼い主を恫喝する。
5. 弁護士に相談する。

問16 ある養鶏場で高病原性鳥インフルエンザを疑う症例が発生した。担当した獣医師が最初に行うべき対応として最も適切なのはどれか。

1. 都道府県知事に届け出る。
2. 病鶏を診療所に運び隔離する。
3. 病鶏をとさつ解剖し埋葬する。
4. 他の養鶏場へ行き発生状況を聞く。
5. しばらく様子を見る。

問17 哺乳類の食道粘膜上皮はどれか。

1. 単層扁平上皮
2. 単層円柱上皮
3. 重層扁平上皮
4. 多列上皮
5. 移行上皮

問18 分葉核を示す細胞はどれか。

1. 好中球
2. 形質細胞
3. 血小板
4. 赤血球
5. 小リンパ球

問19 血液中のグルコース濃度を低下させるホルモンはどれか。

1. グルカゴン
2. 成長ホルモン
3. インスリン
4. アドレナリン
5. グルココルチコイド

問20 血液凝固の第IV因子に相当するのはどれか。

1. K^+
2. Na^+
3. Ca^{2+}
4. Mg^{2+}
5. Cl^-

問21 クエン酸回路が存在する細胞内小器官はどれか。

1. 核
2. リソソーム
3. 小胞体
4. ゴルジ複合体
5. ミトコンドリア

問22 遺伝情報が次世代に正確に伝わる機序はどれか。

1. 多数の転写開始点
2. mRNA の存在
3. 翻訳後修飾
4. mRNA のスプライシング
5. 半保存的複製

問23 注射用全身麻酔薬はどれか。

1. ハロタン
2. プロポフォル
3. セボフルラン
4. ジノプロスト
5. クロミプラミン

問24 「覚せい剤取締法」で規制される薬物はどれか。

1. コカイン
2. ペントバルビタール
3. アンフェタミン
4. ケタミン
5. メチルフェニデート

問25 50%致死量はどれか。

1. LD₅₀
2. ED₅₀
3. EC₅₀
4. TCID₅₀
5. EID₅₀

問26 良性腫瘍の特徴はどれか。

1. 成長速度が早い。
2. 膨張性に増殖する。
3. 転移しやすい。
4. 再発しやすい。
5. 細胞の極性が消失する。

問27 構成細胞の再生能力が最も低い組織はどれか。

1. 結合組織
2. 心筋
3. 平滑筋
4. 腺上皮
5. 末梢神経

問28 細菌の同定に使われる試験法はどれか。

1. ストラウス反応
2. END 法
3. ボック形成
4. COFAL テスト
5. 巨細胞形成

問29 A型インフルエンザウイルスがウイルス粒子中に保有する酵素はどれか。

1. 逆転写酵素
2. DNA 分解酵素
3. インテグラーゼ
4. DNA 依存性 RNA ポリメラーゼ
5. ノイラミニダーゼ

問30 人に感染する可能性がある疾患はどれか。

1. 鼻疽
2. 馬パラチフス
3. 豚コレラ
4. 猫伝染性腹膜炎
5. マレック病

問31 緊急な防疫措置を行わなければならない疾患はどれか。

1. 伝染性喉頭気管炎
2. 口蹄疫
3. 鶏のロイコチトゾーン病
4. イバラキ病
5. 犬パルボウイルス感染症

問32 ピロプラズマ病の主要ベクターはどれか。

1. カ
2. ハジラミ
3. ノミ
4. イエバエ
5. マダニ

問33 胎盤感染する寄生虫はどれか。

1. マンソン裂頭条虫
2. 東洋眼虫
3. 犬糸状虫
4. 犬回虫
5. 肝吸虫

問34 食品健康影響評価やリスクコミュニケーションを行うことを規定した法律はどれか。

1. 食品安全基本法
2. 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律
3. 食品衛生法
4. と畜場法
5. 牛海綿状脳症対策特別措置法

問35 予防にトキソイドワクチンが使用される疾患はどれか。

1. 狂犬病
2. 炭疽
3. 日本脳炎
4. 破傷風
5. ワイル病

問36 イタイイタイ病に関する記述として正しいのはどれか。

1. 宮崎県土呂久鉦山付近で発生した慢性ヒ素中毒
2. 富山県神通川下流付近で発生した慢性カドミウム中毒
3. 熊本県水俣市で発生したメチル水銀中毒
4. 新潟県阿賀野川流域で発生した有機水銀中毒
5. 西日本で発生した米ぬか油への PCB 混入による中毒

問37 ジャガイモの芽に多く含まれている中毒物質はどれか。

1. ソラニン
2. サイカシン
3. アコニチン
4. スコポラミン
5. サポニン

問38 牛肺疫に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 我が国では1940年を最後に2012年まで発生していない。
2. パールテストが診断法として用いられる。
3. マイコプラズマが原因である。
4. 法定伝染病である。
5. ワクチンが有効である。

問39 心電図で心房の電氣的興奮を示す波形はどれか。

1. P波
2. Q波
3. R波
4. S波
5. T波

問40 糸球体濾過量の評価に用いられる物質はどれか。

1. 尿素窒素
2. ナトリウム
3. アルブミン
4. カリウム
5. クレアチニン

問41 中枢性尿崩症で不足しているホルモンはどれか。

1. アルドステロン
2. コルチゾール
3. バソプレッシン
4. チロキシシン
5. カルシトニン

問42 放射線防護に関する記述として適切なのはどれか。

1. 被曝量と放射線源からの距離は比例関係にある。
2. 一次X線束内に身体が入らなければ防護服の着用は必要ない。
3. 個人被曝線量計は男女ともに胸部に装着する。
4. 大型犬のX線撮影時には小型犬と比較して散乱線が増加する。
5. 生体に対する影響は放射線の種類にかかわらず一定である。

問43 X線透過性が最も高い組織はどれか。

1. 脂肪
2. 骨
3. 骨格筋
4. 心臓
5. 肝臓

問44 並置縫合に用いられる縫合法はどれか。

1. ギャンビー縫合
2. レンベルト縫合
3. コンネル縫合
4. クッシング縫合
5. ハルステッド縫合

問45 小脳障害に特徴的な神経症状はどれか。

1. 強直間代性痙攣
2. 頭部の押しつけ行動
3. 情動障害
4. 測定過大
5. 旋回運動

問46 欠乏により牛の産褥性ヘモグロビン（血色素）尿症の原因になるのはどれか。

1. カルシウム
2. リン
3. マグネシウム
4. コバルト
5. マンガン

問47 妊娠の有無に関わらず黄体機能が同程度の期間持続する動物はどれか。

1. 牛
2. 馬
3. 豚
4. 犬
5. 猫

問48 交尾排卵動物はどれか。

1. マウス
2. ラット
3. ウサギ
4. アカゲザル
5. モルモット

問49 ニジマスの免疫系に存在しないのはどれか。

1. マクロファージ
2. 好中球
3. リンパ節
4. 抗体
5. 補体

問50 反すう類や馬で主に雄で見られる〔図1〕の行動はどれか。

1. フラッキング
2. フレーメン
3. ライトニング
4. スタンディング
5. マウンティング